



規の記

郡山市立大槻小学校

学校だより NO. 5号

令和5年6月1日

発行者：校長 坂牧広文

心肺蘇生法・AED講習会を行いました

学校のプールも水温が上がり、天候さえ良ければ入水できる状態になりました。30日（火）には5年生が一番乗りでプールに入りました。まだ体が水に慣れていないので「寒い寒い」と言っていたようですが、とても楽しそうでした。

5月29日（月）には、赤十字救急法指導員の佐藤敦子様を講師としてお招きして、教職員が心肺蘇生法とAED講習会を行いました。事故がなく、楽しく水泳学習を実施できることを願っていますが、今年富山県のスイミングスクールで5歳児の死亡事故がありましたように、毎年水の事故が起こっています。本校では、万が一の場合に備えて先生方も「命を守る」研修を行っています。



心肺停止から、1分以内に救命措置が行われれば95%が救命されるそうです。
3分以内では、75%が救命され、脳障害も避けられる可能性があります。
5分経過すると救命率は25%になり、
8分経過すると救命の可能性は極めて低くなるそうです。

救急隊が到着するまでの時間は、全国平均で約9.4分間だそうです。ということは、事故が起こった場合、通報してから救急隊が到着するまでの間の救命措置が非常に大事になるということです。

先日の講習会は、話を聞くだけでなく、実際に体を使う実技を重視した研修でした。心臓マッサージはかなり疲れますが、先生方は汗をかきながら真剣な表情で取り組んでいました。



「たくさん芽がでたよ」

下学年は、生活科や理科の学習で植物を育てています。自分の植木鉢で一人ずつ育てているのでとても愛着をもっています。毎朝、登校すると自分の植木鉢を見に行き、水をあげて、昨日と違うところをじっくり観察しています。みんな、小さな命をととても大切にしているのが伝わってきます。近くに行くと「芽がでたよ」「〇〇君は5つでたよ」「次は、本葉が出るんだよ」などと一生懸命教えてくれます。この後はどんなふう to 育つのかな？花や実ができるのも楽しみです。

